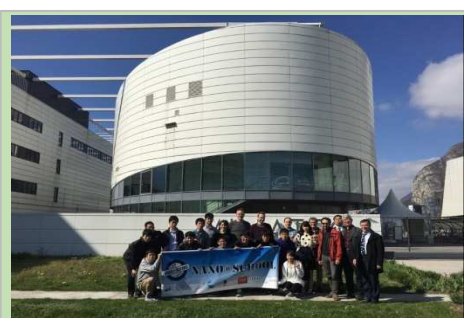


岡山県立総社高校

大学や研究機関と連携した サイエンス部の課題研究

取組等の概要



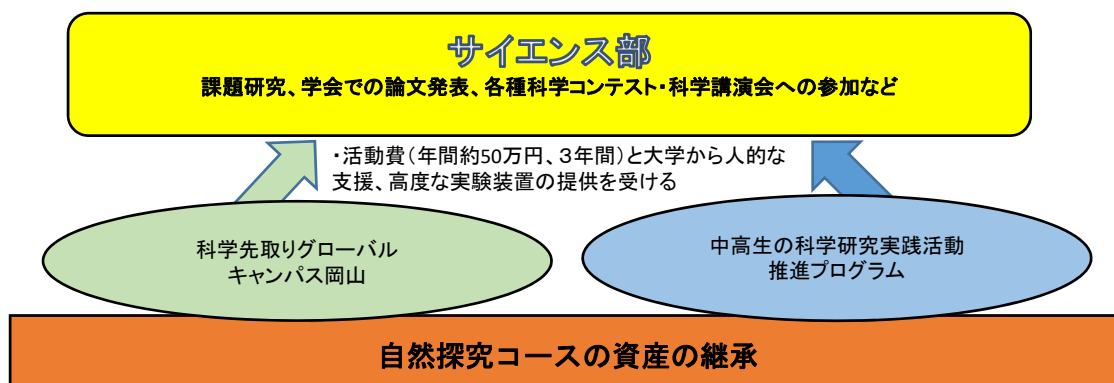
フランス海外研修(部員1名参加)



日本学生科学賞の授賞式
(後列左から2番目)



「サイエンスチャレンジ岡山」の工学部門(3位H15,17)で匠賞(H16)を受賞した作品を作成している様子



本校のサイエンス部は、自然探究コースで培われた課題研究などに関するノウハウを受け継いでいます。課題研究を全国レベルに高める目的で、「科学先取りグローバルキャンパス岡山(岡山大学主催)」と「中高生の科学研究実践活動推進プログラム(JST主催)」からの支援を受けて、活動費(年間約50万円、3年間)をはじめ、大学から人的な支援と高度な実験装置が提供されました。このことで授業とは異なった研究を放課後毎日行っていくことが可能です。課題研究はもちろん、学会での論文発表、各種科学コンテスト・科学講演会などに積極的に参加しています。自慢の研究装置は、鉛ブロック10個で囲まれた空間に試料とシンチレーションカウンターを設置した「 γ 線スペクトル測定装置」と「携帯用小型熱画像カメラ」です。

今後は、ウランが産出する岡山県の地の利を生かした自然放射線や放射能除去などの研究を行ったり、熱画像カメラを用いたスターリングエンジンに関する研究、豪雨災害における防災に関する研究、ゴムの弾性に関する研究に取り組んだりして、生物分野と物理分野を扱った学際的な研究など、さまざまなテーマの研究に挑戦していきます。